

評価対象年度	平成 30 年度
編 成 区 分	6月補正
記 入 日	H30.5.15

事務事業評価【事前】シート

担 当 課	総 合 政 策 課
課 長 名	小 柳 哲 也
担 当 者	川 田 麻 記

評価対象事業名	上五島の魅力再発見プロジェクト事業
---------	-------------------

基 本 姿 勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
分 野		
政 策	1	魅せる観光交流のしまづくり
基 本 施 策	2	国際交流・地域間交流の推進

事業期間		単年度	単年度繰り返し		● 継続事業（30年度～32年度）		
事業費		金額（千円）	国	県	起債	その他	一般財源
	当 年 度	1,700	850				850
	総 額	5,800	2,900				2,900

事業目的 （誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果を得ようとしているのか）	本町は、海に囲まれ急峻な山々が連なる独特な景観や豊かな自然に恵まれており、近年のアウトドア人気の高まりの中で、本町を自転車で訪れる観光客やバックパッカーも増加している。また、サークル活動などで来島する大学生等、若年層の来島者も増えており、多種多様化する旅行者のニーズに対応し、自然景観と併せて教会群等の歴史文化や、食文化等の魅力を再発見することで、価値観やライフスタイルにこだわりのあるアウトドア愛好家が何度も訪れたいとなるしまづくりと、交流人口の拡大を図る。
事業概要	◆全体事業計画又は業務フロー 長崎県立大学「しまなび」プログラム及び相互協力連携事業を活用し、県立大学生によるサイクリングコースの設定を行う。また、雑誌『PAPERSKY』を発刊している（有）ニーハイメディア・ジャパンによる雑誌やWeb媒体で本町のPRを実施し、サイクリングイベント「ツール・ド・ニッポン」を開催する。 イベントの実施に際し、県立大学生が提案したサイクリングコースのブラッシュアップ・新たなコース開発等を行うとともに、アウトドアビジネスの可能性に向け、島ならではの楽しめるアウトドアトレンドを探る。 また、イベントの実績を踏まえ、次年度以降は、他のアウトドア団体との連携を図りつつ、アウトドアを軸とした新たな交流拡大事業を実施する。 ◆当年度事業計画 ・長崎県立大学「しまなび」プログラムによるサイクリングコースの検討、サイクリングマップ作成 ・雑誌『PAPERSKY』ウェブサイト、フライヤーでのイベント告知、町のPR等の情報発信 ・長崎県立大学生によるサイクリングコースの試走 ・「ツール・ド・ニッポン（かみごとう）」の開催
事業の必要性 （現状における問題点、その要因、今後の課題）	地域産業と協調・連携したブルーツーリズム、エコツーリズムなど自然豊かな地域の特性を活かした自然体験型交流事業を展開・充実に努め、交流人口の拡大を図る必要がある。また、世界遺産登録に向けたおもてなしのしまづくりなどの受入環境整備を図ることで、交流人口の拡大を図る必要がある。

成果（活動）指標	指標（単位）	アウトドアイベント参加者数（人）				
	年 度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度以降
	目 標 値	20	50	50		
	成果指標及び目標値の説明	新たなアウトドアイベントの核となる人材の育成を図るため、島外からの参加者に併せ島内の参加者も増やすことで、イベントへの参加者50名を目標とする。				

2 次 評 価	事業の方向性	●	採択	●	所管案のとおり		事業のやり方改善		事業規模拡大	
					事業規模縮小		事業統廃合		その他	
			不採択		企画不十分					
			一部不採択		企画不十分					
	評価理由	長崎県立大学及び地域住民と連携して本町の新しい魅力あるメニューを構築するものであり、事業の実施は適当である。事業実施にあたっては、県立大学、県スポーツコミッションなど関係団体等と十分協議を行い実施すること。								

3次評価	住民等の意見	
	町の対応	